

いつもと変わらない毎日

苫小牧市立和光中学校 3 年 水野 心優

私の家族は三人家族。私の妹は言葉を話すことはできないが、いつもニコニコしていてまわりを笑顔にすることが得意だ。そんないつも明るい妹は手術や検査のため入退院を繰り返している。その入院には母が付き添い、その間お仕事も休んでいる。なのになぜ私はいつもと変わらない生活を送っていいのか入院の費用はどう払っているのか、疑問に思った私は母に聞いた。すると母は「税金」に助けられていると私に話した。

特に検査の費用に視点を向けて考えてみると、脳波の検査に約六万円と書いてあった。また、迷走神経埋め込み術をした時にかかる費用は百万円以上と書かれており、高額な費用がかかっているということを初めて知った。その中で全て調べたサイトに共通して書いていた言葉は「保険適用」という言葉だった。国のお金の動きについてあまり知らない私はその言葉が頭に残り調べ、考えてみた。

すると、「非課税」という言葉にたどりついた。調べてみると非課税世帯というものにあてはまる。本来納めるはずの所得税や住民税が免除される家庭のことである。この制度に助けられている家庭は日本の二十四パーセントを占めており、その内訳を細かく見ると七十五パーセントが六十五歳以上のお年寄りだということもわかった。その結果を見て、ポスターにもあるように非課税世帯を支える若年層の人数が年々減っていると改めて知った。年金、医療、子育て、色々な場面でたくさんの種類の税が生活に関わりがあると分かったと、妹が健康に生活するため私自身の生活が変わらず送れること、全てに感謝の気持ちが生まれた。もし、高額費用の手術・検査が私の生活に関わるからできないとなっていたらと思うと不安や心配の気持ちが多くあったのではないかと思った。

私は、今の生活の中で物を買うのにかかる「消費税」、自分で商売し稼いだお金などにかかる「所得税」、法人の企業活動などによる「法人税」など税金はお金を払っているからとマイナスにとらえず、今家族が不自由なく生きているということを頭に入れ、自分が社会人になった時は、目の前の出費だけにとらわれず、広い視野で税金について考えようと思った。

今、私の妹は迷走神経刺激装置埋め込み術をしてから発作も減り、心配が大きく減った。妹は毎日家族だけではなく周りにいる人に笑顔の花を咲かせている。そんな楽しくて明るい生活を送れるのは多くの人によって支えられているものだと思えてはいけなかった。

私が大人になって税を納める時は自分だけではなく全ての人が笑顔の花を咲かせた生活ができるよう、しっかり税を納めようと思った。